

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社ミライ・シア

②施設・事業所情報

名称：木下の保育園センター南	種別：認可保育所
代表者氏名：永井 まち子	定員（利用人数）： 72名
所在地： 神奈川県横浜市都筑区中川中央2-3-25	
TEL：045-620-0890	ホームページ：https://www.kinoshita-hoiku.com/facility/center-minami
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2019年 4月 1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社木下の保育	
職員数	常勤職員： 14名 非常勤職員 5名
専門職員	保育士 10名 保育士 5名
	看護師 1名
	栄養士 3名
施設・設備の概要	（居室数）保育室5, 休憩室1 （設備等）屋上園庭
	事務室兼養護室1, 着替え室1, 他3

③理念・基本方針

1. 協調性を持ち、他者を尊重し認め合う心を育てる
2. のびのびと自己表現ができる環境を提供する
3. 試行錯誤をする中で考え創造し、自分で判断する力を養う
4. 探索活動を大切にし、こどもの興味や関心に寄り添う
5. 生きる力を創る

④施設・事業所の特徴的な取組

統合保育・幼児単科別保育・日替わり設定コーナー保育・（職員のスキルの向上と発揮の場の設定）

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2021年12月2日（契約日）～ 2022年3月30日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（ 年度 ）

⑥総評

◇特に評価の高い点

1. 理念の共有

法人の理念が職員へ共有され、理念に基づいた保育を行うための取り組みが行われています。法人が作成している「保育の心得」には、社会人として、保育士として心がけることを具体的に記載しているとともに、保育理念を具体的な表現で説明する内容が記載されています。

また、園長は職員がより理念を理解しやすいように「個と集団で生きる」という独自の表現を使って職員へ説明をしています。独自の表現とともに、職員会議や日々の打

合せ時などに繰り返し理念について話をすることで職員への周知を図っています。職員が理念を理解しやすい取り組みとともに、周知のための取り組みが熱心に行われ、理念に基づいた保育の実践に努めています。

2. 子どもの育ちのための保育内容や方法の配慮

「集団の中の個・個による集団」は園のテーマとしています。それが分かる取り組みとして、1歳児と5歳児で運動会ごっこ、4, 5歳児でリトミック、幼児クラスでゲームなど園では異年齢での活動を多く取り入れています。また、年齢に応じて自分の思いを主張しつつも相手の思いに耳を傾けたり、受け入れられるよう職員が仲立ちしながら集団で遊ぶ楽しさを味わえるようにしたり、自分の意見を集団の前で発表できる機会を作り、自分たちで考え、主体的に活動できるようにしています。運動会での5歳児クラスのドラム・バトン隊のマーチングやそうらん節、リレーは職員の想像をはるかに超えた頑張りや出来栄となったことはマンスリーニュースレター（園だより）で保護者にも詳しく紹介をしています。

3. 「食」に関する丁寧な取り組み

年間の食育計画があり、食に関する活動、野菜の育成と観察、歴史や自然と食の動画と写真鑑賞、調理などで食への意識作りに努めています。給食を提供の際は、2歳児クラスからは調理室でなく、クラス内で担任が子ども一人ひとりに自分が食べられる量を確認してから盛り付けをしています。調理担当の管理栄養士は各クラスをまわり、食材を見せてくれたり、子どもの様子を見たりしています。また、子どもたちの当番活動はコロナ以前は盛り付けを行っています。栽培（ジャガイモ、ナス、ホウレンソウ、カブなど）、クッキング（食材の皮むき、冬瓜のくりぬきなど）に関しては、コロナ禍の中でもできることをし、子どもたちが楽しみながら食への興味関心を育めるようにしています。

◇改善を求められる点

1. 中長期計画、単年度事業計画の策定

園では中長期計画、単年度事業計画が策定されていません。単年度の保育計画や研修計画、食育計画などが個別に策定されているものの、全体を包括する事業運営に関する計画の策定がされていません。

健全な事業運営を行っていくためには、中長期ビジョンに基づいた包括的な単年度事業計画が必要となります。

今後、これらの計画が策定されることで、より計画的な事業運営につながることを期待されます。

2. 保護者とのコミュニケーション

全職員がよりよい保育の基盤に欠かせない要として、保護者とのコミュニケーションの重要性を理解し、信頼関係の構築に努めています。しかし、長引くコロナ禍で、送り迎えを玄関外対応としており、これまでの丁寧な保護者対応が困難なこともあり、保護者理解不足も生じています。改善に向けた取り組みの継続が期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

懇切丁寧な姿勢の傾聴やアドバイスで、保育士の次の活力に繋げる自信、勇気、安心感を頂けた。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり